浪江町タブレットキャラクター「うけどん」について

浪江町では、2011 年に発生した東日本大震災・福島第一原子力発電所事故により避難を続ける町民の皆さんに向けて、町の情報発信や町民同士の絆の維持、町と町民とのつながりづくりを目的に各家庭へタブレットを配布する事業を実施し、町民の皆さんに親しみを持ってタブレットを活用してもらうため、2014 年に「うけどん」が誕生しました。

「うけどん」は、浪江町のタブレットキャラクターとして活躍後、2016 年にタブレットから飛び出し、以来約 10 年間、浪江町のイメージアップキャラクターとして町内外で PR 活動を続けています。

活動１０周年キービジュアルの公開

今年で合併 70 周年を迎える浪江町の魅力やイベントなどを、うけどんとともにかわいくまとめキービジュアルを制作しました。



＜デザインの詳細＞
・浪江町の請戸川リバーライン
・請戸漁港と漁船、日の出
・浪江町の花である「コスモス」
・「トルコギキョウ」
・相馬野馬追や十日市祭
・町民の皆さんにより継承されている伝統芸能「請戸の田植踊」や「神楽」
・町の伝統的工芸品「大堀相馬焼」